

# 院 衆 生活保護改悪案 翼賛可決

審議わずか2日 自公・民・維・み・生が賛成

化は憲法25条が保障する生存権を壊すものであり、「違法行為である『水際作戦（＝申請のはねつけ）』を合法化するものだ」（高橋ちづ子議員）と批判して反対しました。

生活保護改悪と一体で提出された生活困窮者自立支援法案は、生活保護受給者に就労訓練事業として、「中間的就労」を押し付けるものと反対しました。

日本共産党は、「たたかいはこれから。参院で廃案を目指してがんばりぬく」（志位和夫委員長）と表明しています。↓関連④⑤面

## 共産党が反対

生活保護の申請をはねつけ、利用者を追い出す生活保護法改悪案と生活困窮者自立支援法案が4日の衆院本会議で、自民、公明、民主、維新、みんなの各党に加えて、生活の党も賛成に回

り、賛成多数で可決、参院に送られました。日本共産党、社民党は反対しました。国民の命を脅かす悪法に自公はじめ野党4党も加担する異常事態です。衆院の審議はわずか2日、本会議採決では討論さえ行われませんでした。

生活保護を申請する際、これまで口頭でも申請できたのに、改悪案では、書類提出を義務付け、窓口で申請をはねつけることを可能にします。扶養義務者に対する調査権限を強化し、保護開始の要件ではない扶養義務の履行を強いることで

申請を抑える内容になっています。民主党は、書類提出について、改悪の根幹を変えないただし書き「特段の事情があればこの限りではない」との文言を加えることで賛成しました。日本共産党は、申請書提出義務付けと扶養照会の強